

arcserve®

Assured recovery™

Arcserve UDP v6

新機能のご紹介

Arcserve Japan

## > ブランドを統一

GUIとマニュアル上の製品表記を  
すべて “Arcserve” に統一

arcserve®

Arcserve  
Backup

Arcserve  
Unified Data  
Protection

Arcserve  
Replication/HA

## > Arcserve UDP のフォーカス エリア

**簡単**

簡単！でも **柔軟に バックアップ**

簡単なだけでなく、バックアップやリストアの自由度も強化。小規模・大規模、物理・仮想、Windows・Linuxを問わず Arcserve UDP で実現

**仮想**

**仮想化統合基盤**に関わる要件をまとめて対応

大規模仮想化統合基盤や、仮想基盤に統合できない物理サーバの保護、テープへのバックアップなどもまとめて Arcserve UDP で解決！

**災対**

**災害対策**を適切なコストで実現

ストレージやネットワークを効率的に利用し、全体コストを抑えてシステムの災害対策を実現

## > Arcserve UDP v6 注目ポイント

### ✓ 時間と手間をかけない業務継続

- インスタント VM が業務継続をさらに高速に実現

### ✓ バックアップ運用の自動化

- コマンドによるジョブ管理ツールとの連携で大規模環境の運用にも対応！

### ✓ Linux バックアップの強化

- RPS が復旧ポイントを一元管理&重複排除、Linux ゲストから詳細リストア、MSP 向けの高速 BMR

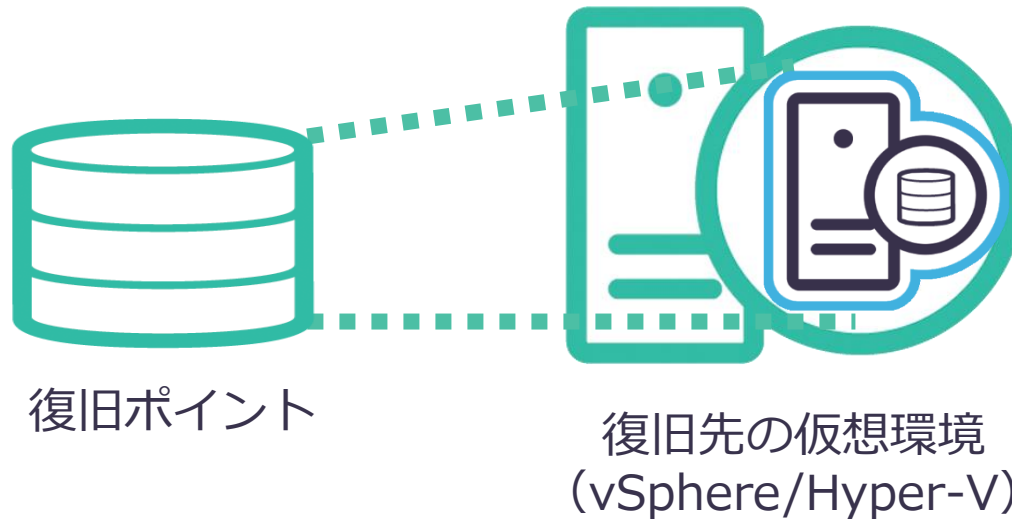
# > インスタント VM

- 手間や時間をかけない業務継続 -

こんな時に  
便利!

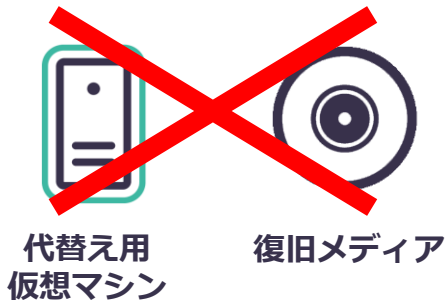
- ➔ 本番サーバの障害時にリストアを待たず業務再開したい
- ➔ バックアップデータの有効性をすぐ確認したい

復旧ポイント（バックアップ データ）を参照する仮想マシンを作成し、本番サーバの代わりに起動させる



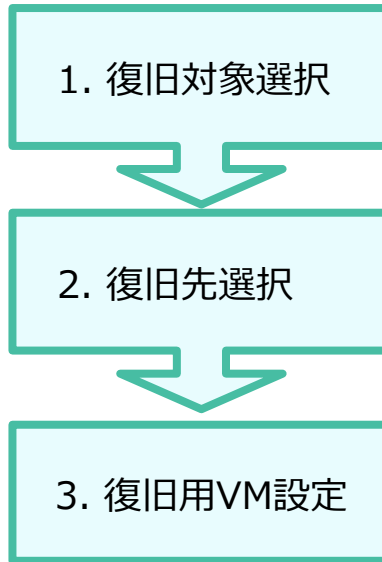
# > “インスタント” な理由

## 理由1 “準備が不要”



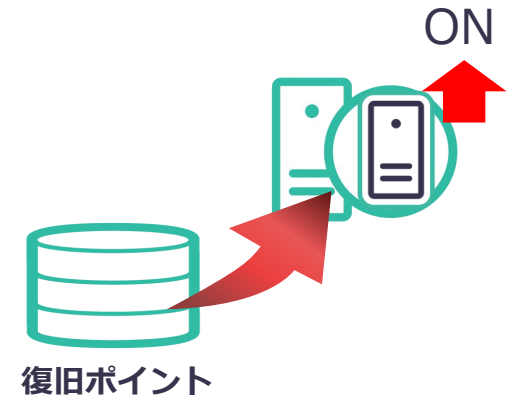
仮想マシンの作成も、復旧  
メディアの準備も不要

## 理由2 “操作が簡単”



わずか3項目を設定する  
だけで実行可能

## 理由3 “素早く業務再開”



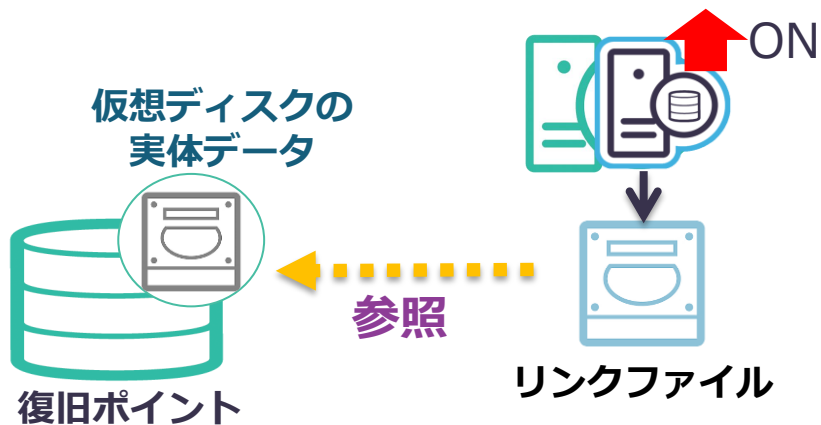
復旧ポイントから  
直接起動し、業務を再開

# > インスタント VMと仮想スタンバイとの違い



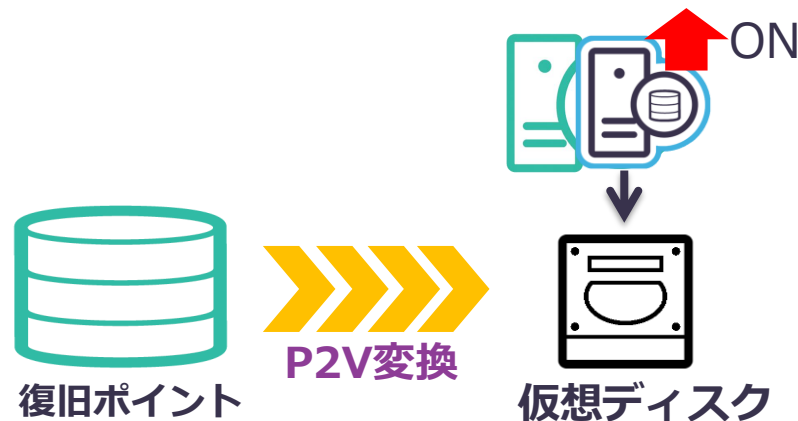
## インスタント VM

- **Windows/Linux、物理/仮想環境** 問わず利用可能 (エージェントレス含む)
- ディスク使用量：**少ない**  
(仮想ディスクはリンク ファイル)
- 災害時の一時的な業務継続向き



## 仮想スタンバイ

- 対象は Windows サーバのみ
- ディスク使用量：**多い**  
(復旧ポイントと仮想ディスクで2重消費)
- **継続運用が可能**

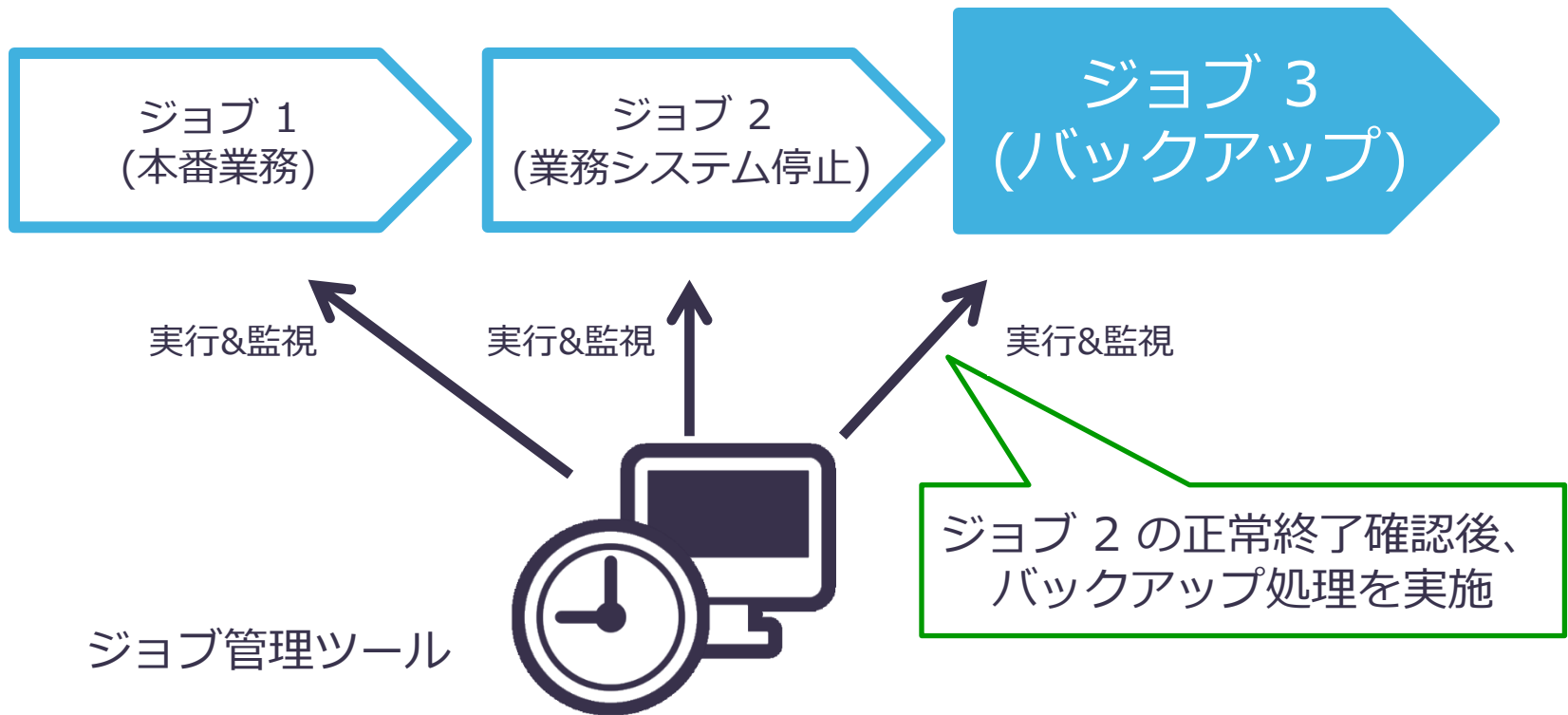


# > バックアップ運用の自動化

こんな時に  
便利！

- コマンドからバックアップ/リストア ジョブを実行
- バックアップ/リストア処理をジョブネットの一部に組み入れ、運用管理全体の中で管理

## ジョブ管理ツールとの連携フロー例



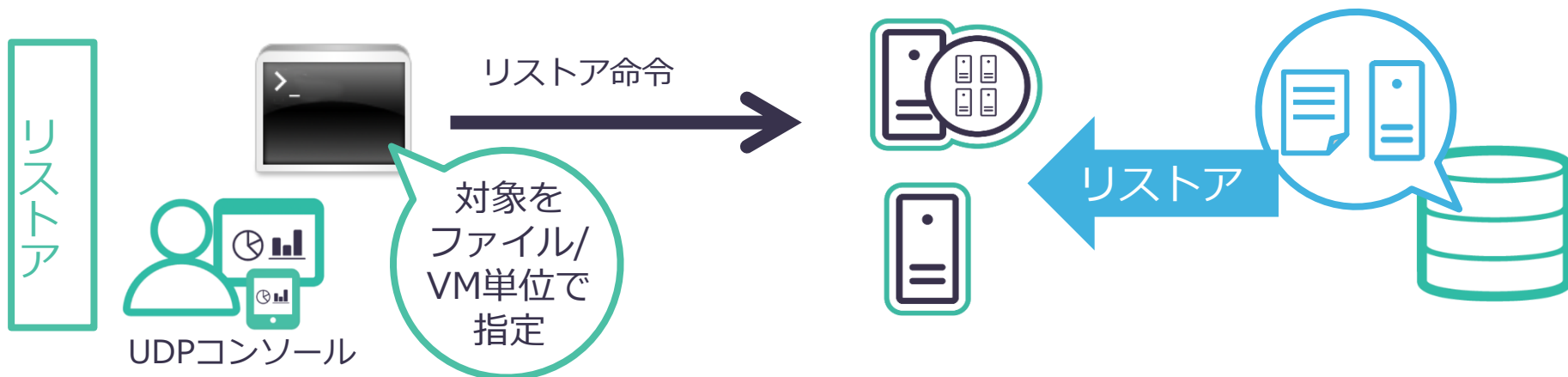


# > コマンドラインインターフェースの利用方法



## バックアップ/リストアの実行

Windows およびLinux物理サーバ、エージェントレス バックアップで  
利用可能

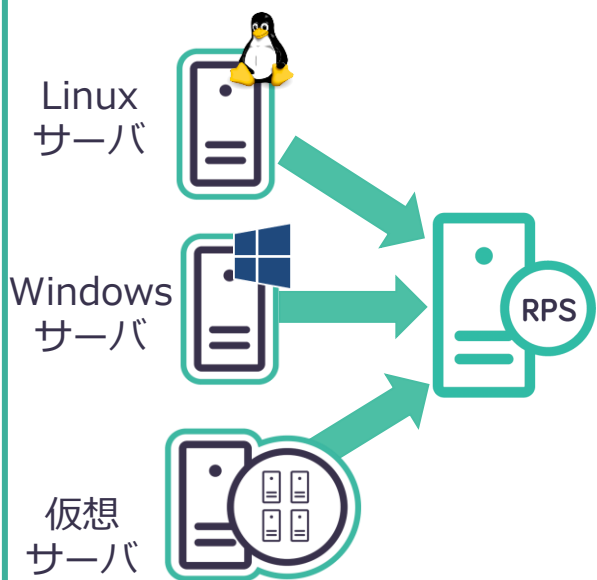


## > Linux バックアップの強化

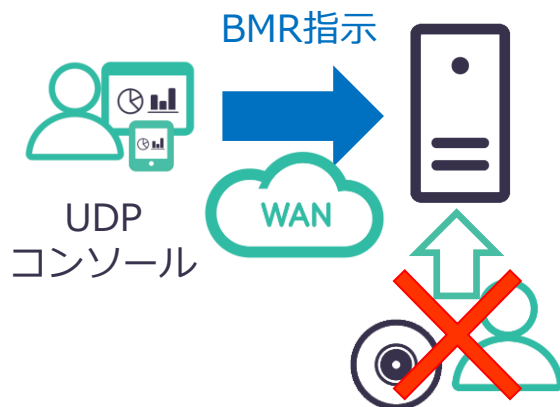
### 強化 ポイント

- ➔ RPS へのバックアップ
- ➔ エージェントレス バックアップからファイル単位リストア
- ➔ Linux 物理サーバのシステム復旧をリモート実行

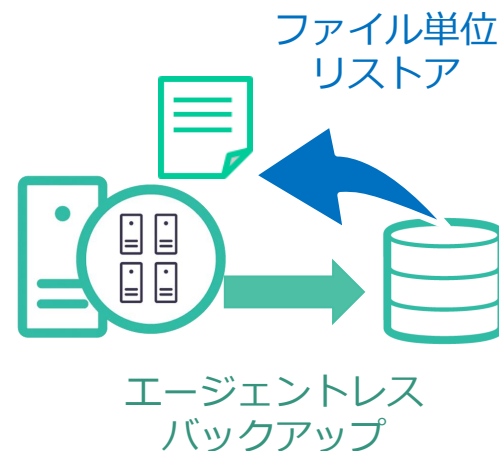
### RPSへ集中バックアップ



### ローカル作業不要の ベアメタル復旧



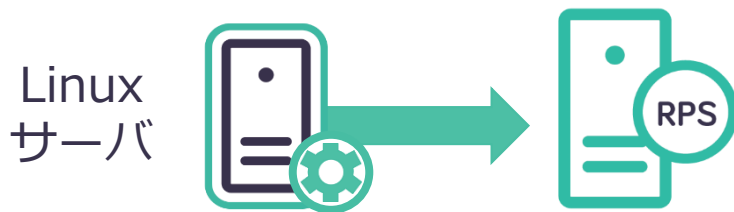
### エージェントレスによる ファイル単位リストア



# > Linuxバックアップの強化 - 復旧ポイントサーバ (RPS) へのバックアップ-

こんな時に  
便利!

→ 復旧ポイントの削減や、  
災害対策をしたい



簡単

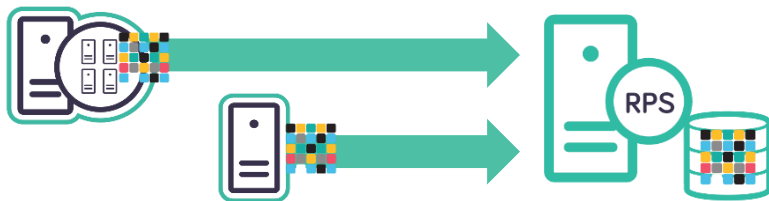
## 継続的な増分バックアップ

フルバックアップの再取得が必要ないので、バックアップ時間と容量を節約できる!



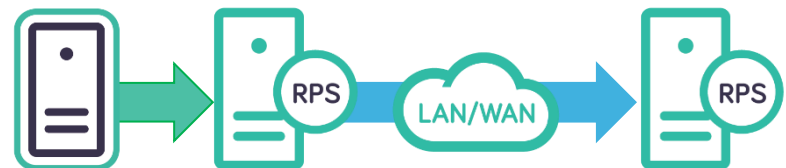
## 災害対策 バックアップデータの重複排除

重複ブロックを排除し、少ないディスク容量で多くのバックアップ世代を残せる!



## 災害対策 バックアップデータの転送

災害に備えてバックアップデータを遠隔地へ転送できる!



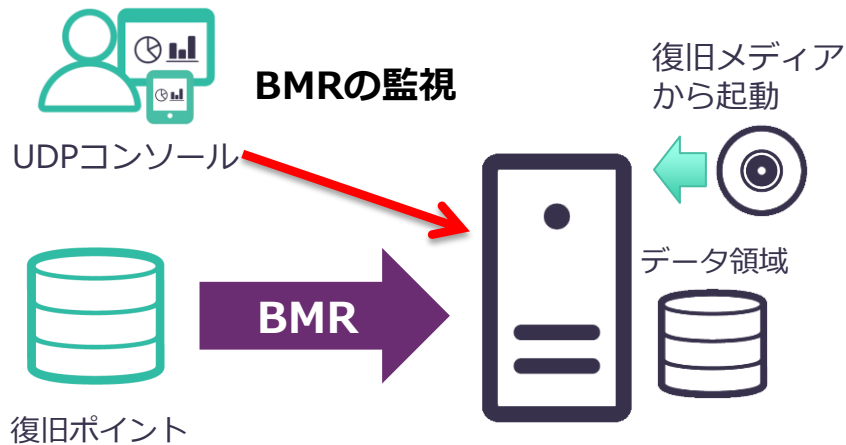
# > Linuxバックアップの強化

## - ローカル作業不要のサーバ復旧 (インスタント BMR) 簡単

こんな時に  
便利！

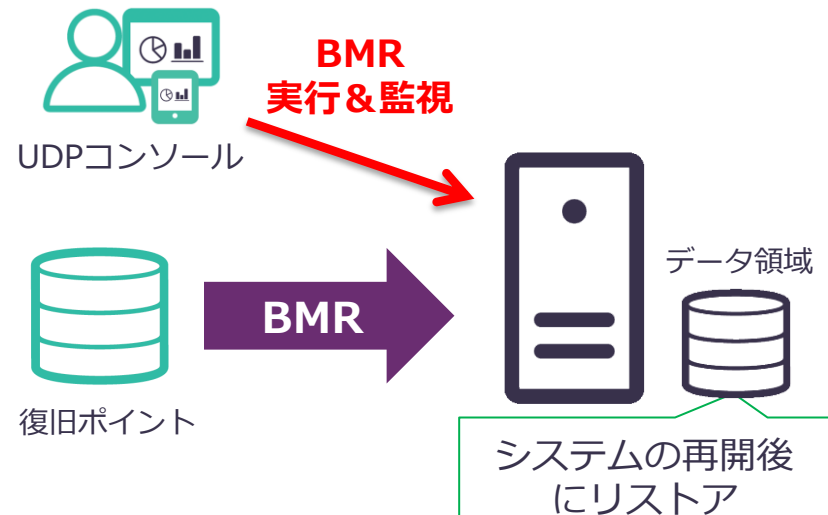
- BMR 操作をすべてリモートで完結したい
- サーバ再起動を優先させ、業務再開を早くしたい

### 従来のBMR



- ・ローカルでサーバ起動作業が必要
- ・BMR完了まで業務再開できない

### インスタント BMR



- ・復旧作業をリモートから実行可能
- ・システムのみ、または全データを復旧対象に指定

# > Linuxバックアップの強化 - Linux 仮想マシンのファイル単位リストア -

こんな時に便利！  
→ エージェントレス バックアップからファイル単位で戻したい  
→ Linux/Windows 混在仮想環境をエージェントレスで運用統一したい

## Arcserve UDP v5 では…

エージェントベース  
運用の場合



ファイル単位



BMR

エージェントレス  
運用の場合

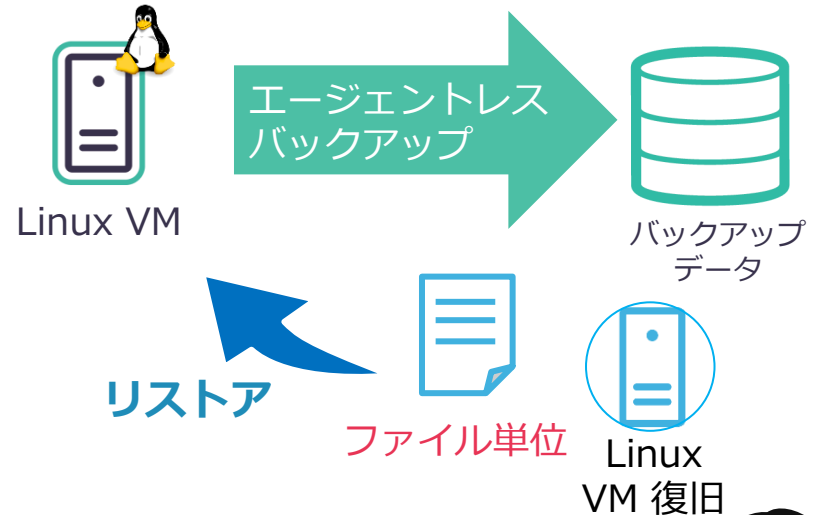


Linux VM 復旧

仮想マシンにエージェントを入れたくないけど、ファイル単位でリストアしたいし。  
どちらの運用を使うか迷う。。



## Arcserve UDP v6 では！？



エージェントレス運用で統一!!



# UDP v6 その他の拡張

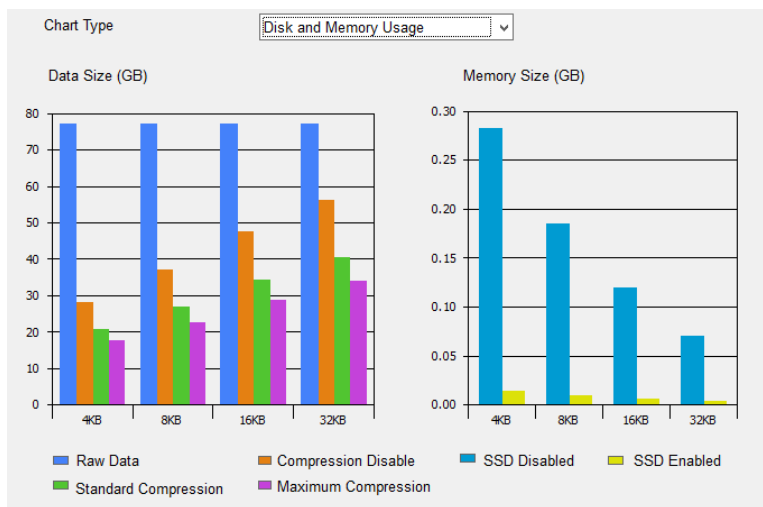
# > 復旧ポイント サーバのスペック推定ツール

簡単

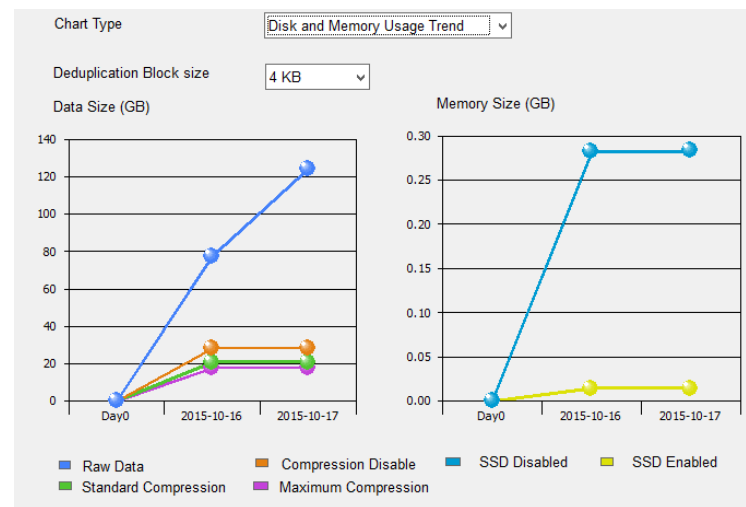
こんな時に  
便利！

- ➔ バックアップ サーバ購入前に必要なスペックを見積もりたい
- ➔ 重複排除のチューニング効果を事前に知りたい

- バックアップ対象マシンのデータから、復旧ポイントサーバに必要なディスクおよびメモリ使用量を算出
- SSDの効果やバックアップ対象データの増加トレンドも予測可能



ブロックサイズ毎の結果



データ量増加トレンドの予測結果

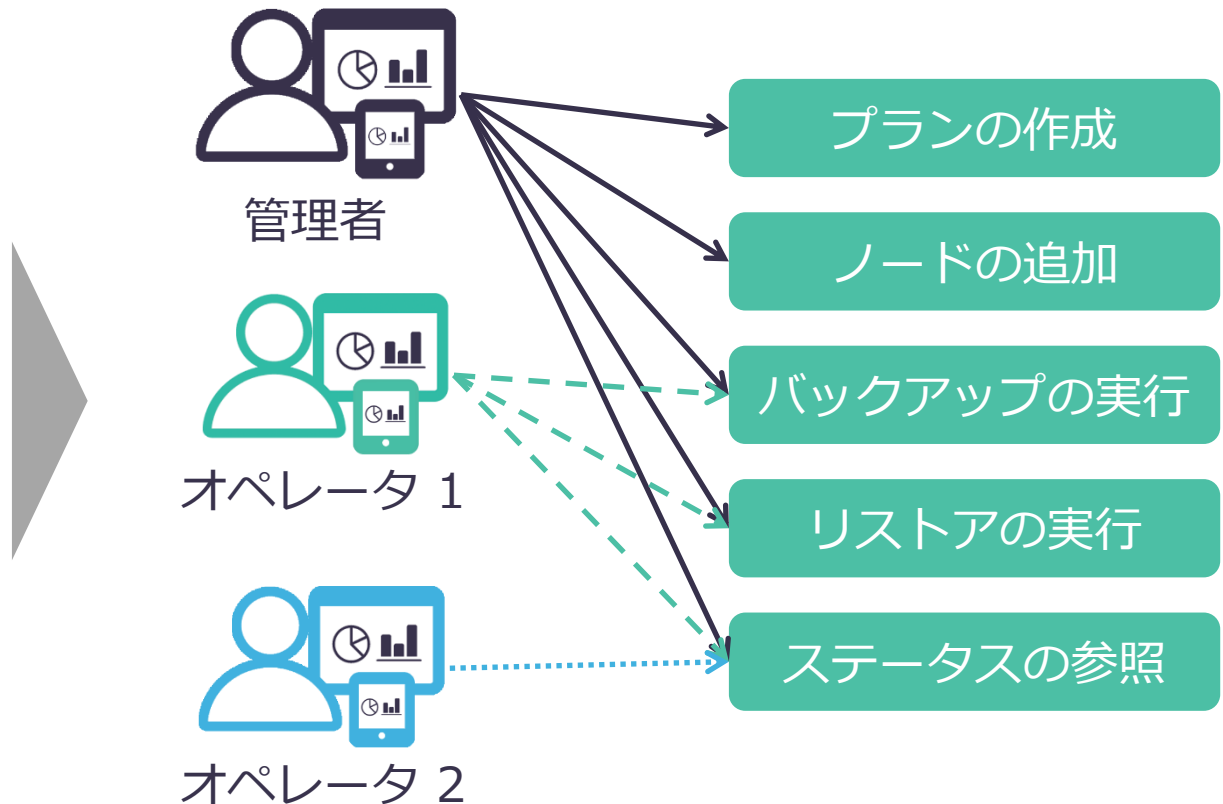
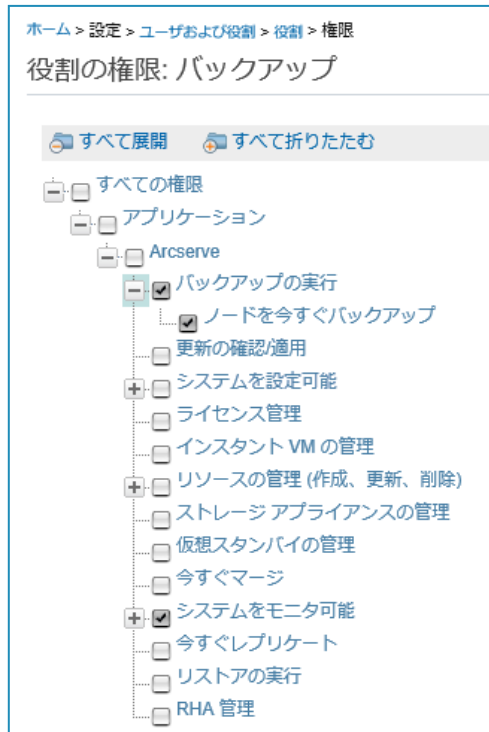
# > ユーザ管理による権限の割り当て

こんな時に  
便利！

- ➔ 管理者以外にはバックアップ設定を変更させたくない
- ➔ ステータス参照しかできない権限をオペレータに与えたい

ユーザごとに操作権限を設定してセキュリティを強化

## ユーザ管理画面



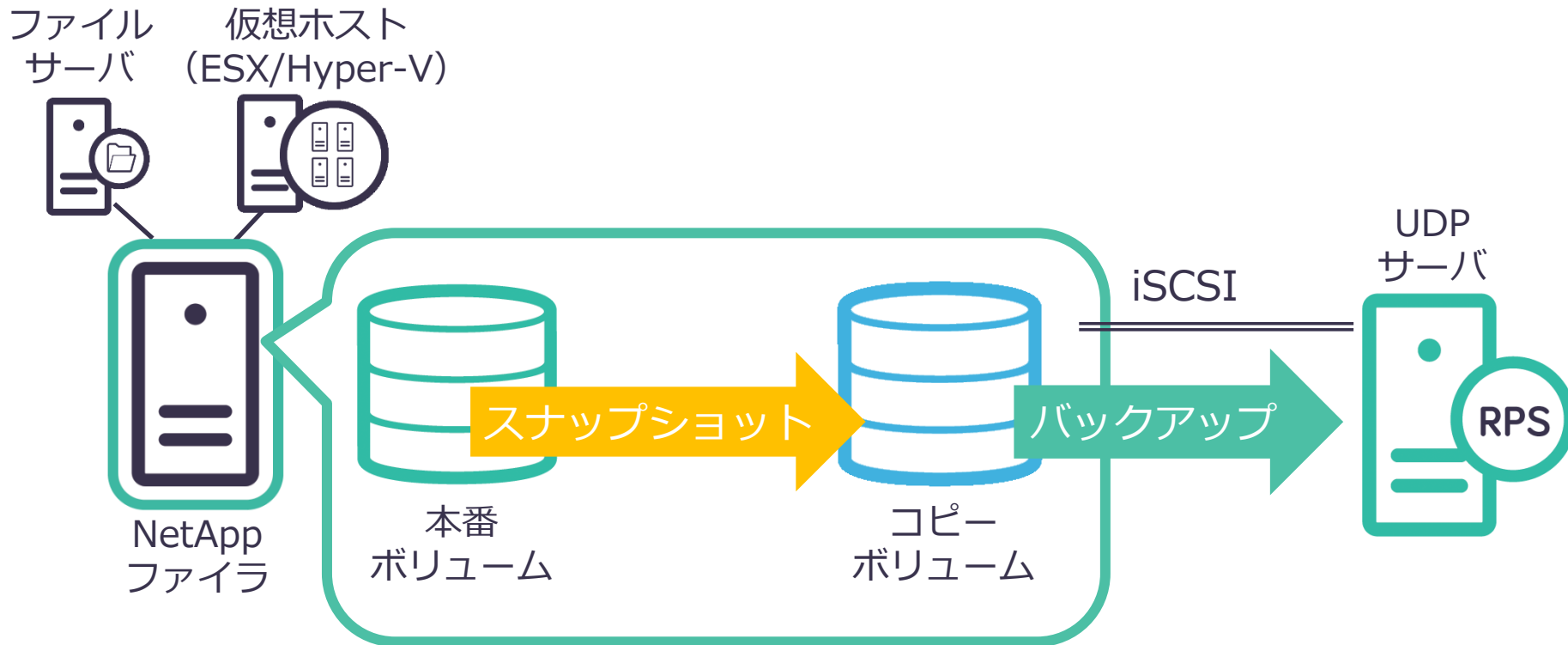


# > ハードウェア スナップショットとの連携

こんな時に  
便利！

- ➔ ストレージ内のデータを LAN フリーで高速にバックアップしたい
- ➔ ファイルサーバ領域と VM 領域をまとめてバックアップしたい

ストレージと連携して作成したスナップショットをSAN経由でバックアップ



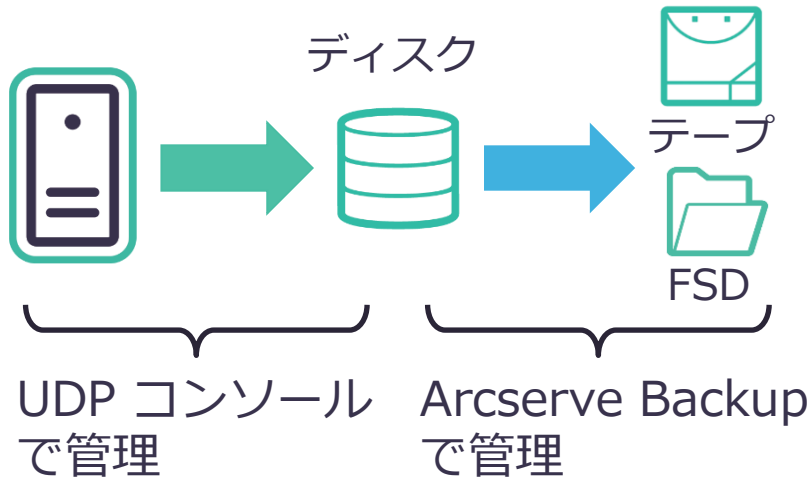
# > テープバックアップ連携の強化

こんな時に  
便利！

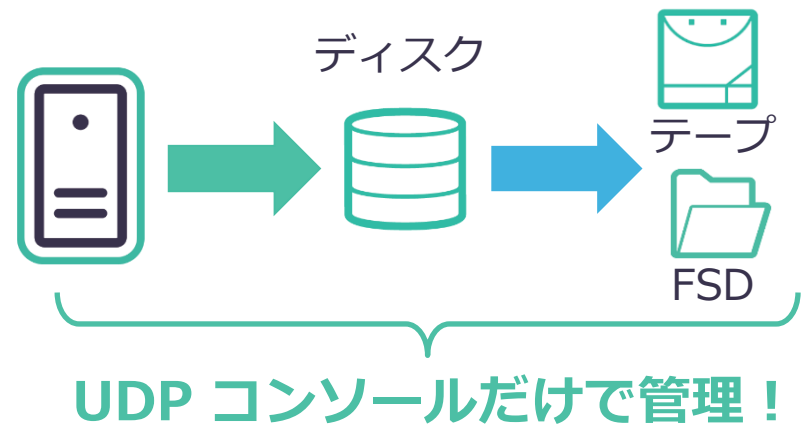
- ➔ 1つの画面で D2D2T バックアップの成否を確認したい
- ➔ 一次バックアップが終わってすぐ二次バックアップを開始したい

Arcserve Backup の設定も UDP コンソールから管理可能！

## Arcserve UDP v5 では…



## Arcserve UDP v6 では！？



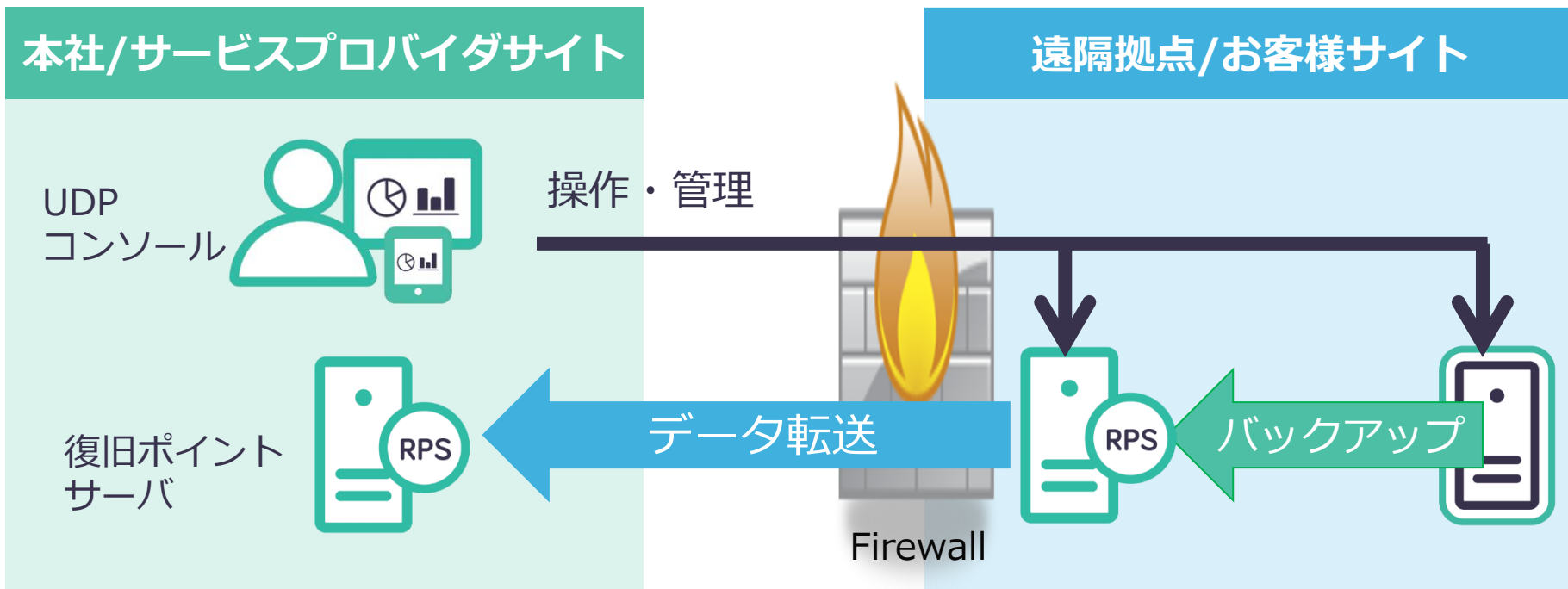
UDP コンソールだけで管理！

## > NAT 環境のサポート

こんな時に  
便利！

- ➔ プライベートIPを利用している拠点のバックアップを管理したい
- ➔ サービスプロバイダとしてお客様サーバの管理を代行したい

外部からFirewallを経由してNAT環境内の復旧ポイント サーバの管理や対象サーバのバックアップ・リストアなどが可能



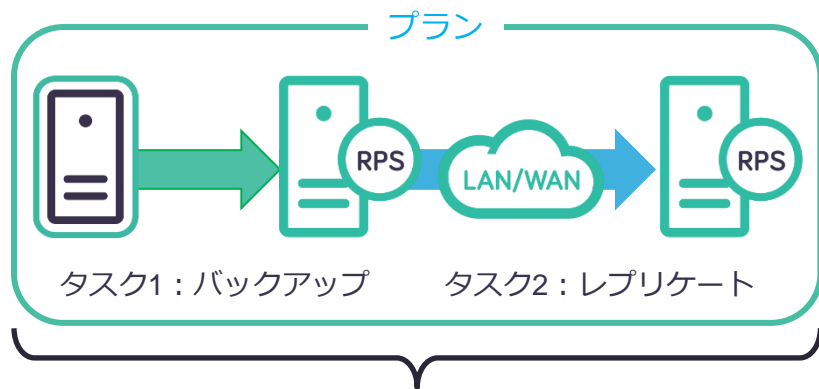
# > レプリケート タスクの拡張

こんな時に  
便利！

- ➔ 失敗したレプリケート タスクだけを即実行したい
- ➔ プランに後からタスクを追加してレプリケートだけ実行したい

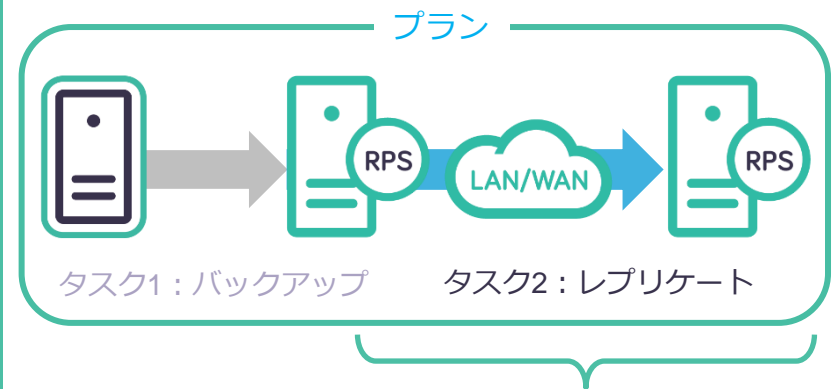
バックアップ完了後にしか実行できなかった復旧ポイントの転送（レプリケート）が、本番サーバに負荷を掛けず任意のタイミングで実行できる。

## Arcserve UDP v5 では…



レプリケートはバックアップとセットのため、レプリケートの再実行は、バックアップから実施

## Arcserve UDP v6 では！？



復旧ポイントの転送だけを実行できる！

## > ファイルコピー機能の強化

こんな時に  
便利！

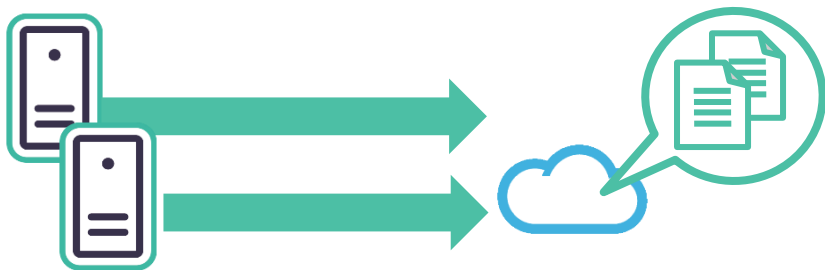
- ➔ 本番サーバに対するファイルコピーの負担を減らしたい
- ➔ ファイルコピーをより細かくスケジュールしたい

「ファイルコピー」を復旧ポイントサーバが処理する事で、負荷分散や  
詳細スケジュールが可能に！

### Arcserve UDP v5 では…

UDP Windows  
エージェント

クラウド ストレージ  
/共有フォルダ

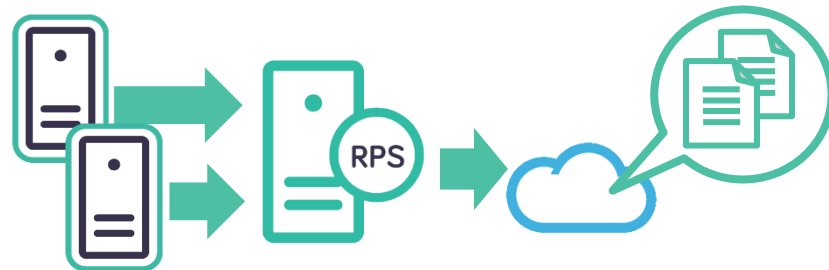


各エージェントでそれぞれコピー

### Arcserve UDP v6 では！？

UDP Windows  
エージェント

クラウド ストレージ  
/共有フォルダ



**RPS が集約し、一括転送**

## > その他の新機能

### リソース構成ウィザードによる初期設定の簡略化

初心者でもより一層簡単にプラン作成が可能に！  
ノード追加、復旧ポイント サーバ設定、タスク作成を、ウィザード形式で順に設定するだけでプランを作成

### 診断ツールによるサポート情報の収集

簡単操作でトラブル解析に必要なログ等の情報を一括収集できるため、トラブル対応の手間を減らして早期解決を実現

### Arcserve製品統合インストーラの提供

Arcserve Backup、Arcserve UDP、Arcserve Replication/High Availability の 3製品をまとめてインストール可能  
必要な製品のみダウンロードできて効率的

### 復旧ポイントサーバ(RPS)のバックアップ

復旧ポイントサーバ(RPS) 全体を Arcserve Backup でバックアップ  
Arcserve Backup Disaster Recovery Option を使うことでRPS全体のシステム復旧が可能  
データストアは重複排除されたままバックアップ

## > その他の拡張機能

### インストール時に再起動不要な Windows 用 エージェント

エージェントのインストール時に、v5 では必要だったサーバ再起動が不要に  
対象サーバの稼働状況を気にせずにエージェントの導入が可能

### UDP コンソール用 DB に日本語版 SQL Server Express を採用

UDP コンソールの DB として日本語版 SQL Server 2014 SP1 Express Edition が自動インストールされるように変更（v5 は英語版 SQL Server Express）

### 新しい Exchange Server 用詳細リストアツールの採用

電子メール以外にタスクやパブリック フォルダのオブジェクトもリストア可能  
バックアップ時のカタログ作成が不要になりバックアップ時間が短縮

### サポート対象の追加

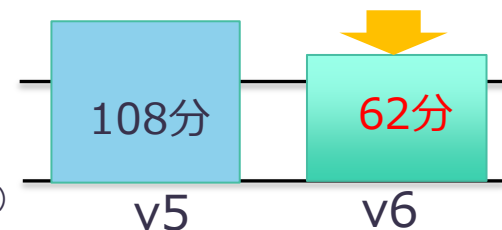
- Windows 10、Exchange Server 2016 (DB レベル リストア)
- Red Hat Enterprise Linux 7、CentOS 7、Oracle Linux 7、SUSE Linux Enterprise 12
- Linux uEFI 環境

# > パフォーマンスの大幅向上

※Arcserve 調査結果

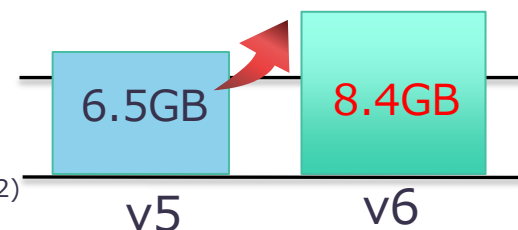
## 1. BMRによるサーバ復旧

ディスク読み取り時間: **75% 短縮!!** (\*1)



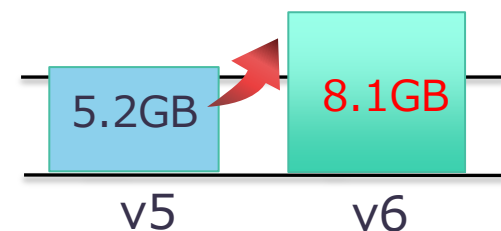
## 2. 仮想マシンの復旧

スループット: **28% 向上!!** (\*2)



## 3. 復旧ポイントのコピー

コピー速度: **54% 向上!!** (\*3)



\*1 平均ディスク リード タイム (デバッグログに記載された情報から推測、データストアの重複排除有効)

\*2 平均スループット GB/分 (Hyper-V 環境 : VM数: 76、データストア量 13TB"重複排除有効")

\*3 平均転送速度 (データストア量 230GB (重複排除有効), 同一サーバ内でコピー)



## > Arcserve UDP v6 の新機能/拡張機能のまとめ

### 簡単

- ✓ Linux マシンの継続的な増分バックアップ (Linux の強化)
- ✓ インスタント BMR (Linux の強化)
- ✓ 復旧ポイント サーバのスペック推定ツール

### 仮想

- ✓ コマンドライン インターフェイス
- ✓ Linux 仮想マシンのファイル単位リストア (Linux の強化)
- ✓ ユーザ管理による権限の割り当て
- ✓ ハードウェア スナップショットとの連携
- ✓ テープ バックアップ連携の強化

### 災対

- ✓ インスタント VM
- ✓ Linux バックアップデータの重複排除 (Linux の強化)
- ✓ バックアップ データの転送
- ✓ NAT 環境のサポート
- ✓ レプリケート タスクの拡張
- ✓ ファイル コピー機能の強化

arcserve®